



研修医日記

作成者

石井 伯昂

初めまして、三沢市立三沢病院研修医1年目の石井伯昂と申します。名前はのりたかと読みます。是非、お見知りおき下さい。

生まれは大阪で高校までおりました、大学になって初めて青森県に来ました。今年から始めて三沢に来て、青森7年目になります。最近だいぶ関西弁が薄れてきた気がします。アカンな。笑

三沢市立病院初めての試みの『研修医日記』ということで、何を書いて良いのやらわかりませんが、自分が現在研修させていただいている総合内科での研修内容を中心に書いていこうと思います。

まず、三沢病院では今年から義務となっている半年間の内科研修を総合内科・消化器内科・循環器内科も3つに分けてそれぞれ2か月ずつ研修することになっております。総合内科では糖尿病や呼吸器、そして少し循環器も含めながら様々な分野の疾患を診ることになります。

1日のスケジュールですが、まず朝に指導医の先生と自分の受け持ちの患者の夜間の状態を確認し、至急対処すべき問題はないかなど話し合います。午前中は基本的に毎日外来診療、午後は入院患者さんの管理や事務仕事などを行います。そして、夕方に指導医の先生と1日の振り返りを行います。仕事は基本的に17時には終了し、残りの時間は自学自習に充てるなど自由に時間を使うことができます。

三沢市立病院の研修の特徴としては、まずは研修医に対応させてしっかり研修医自身に考えさせることです。必要な検査・診断・治療法など全てまずは研修医が考えます。その上で、指導医にしっかりバックアップしてもらい、アドバイスを受けながら方針を決めていくことになります。そして、先ほども記載させていただきましたが、毎日朝と夕に振り返りをさせていただくことでその日の改善点を明確にすることができ、次に生かすことができます。

三沢病院で研修していて1番感じることは指導医の先生がとても熱心でとことん付き合っただけのことです。そして4月から働き始めて右も左もわからない研修医に看護師さんを始めとしたコメディカルスタッフさんはとても親切で何度助けていただいたことか。本当に感謝しております。

また、病院内で野球部の活動をしたり、三沢には米軍基地があるので米国人と交流したり、仕事以外に楽しめることがたくさんあります。

研修病院先として初めて三沢市に来させていただきましたが、毎日とても充実しており三沢市立病院を研修先を選んで本当に良かったなと思っております。

市民の皆様、病院関係の皆様今後とも宜しくお願い致します。また、医学生の皆さんには少しでも三沢市立三沢病院に興味を持っていただければ幸いです。まずは是非病院見学に来てください。